



さわやか

NO. 53 新年号
2018年1月発行
栄区文化協会
<http://sakae-bunkyo.com/>



充実と発展を祈念して

栄区文化協会 会長 西崎 進治

明けましておめでとうございます。
昨年より会の充実と発展を願い、
中期目標を掲げて運営して居ります。
お陰様で、新しい団体「さかえ鎌倉彫の会」の発足、異種団体
のコラボレーションなど文化活動
面では、順調に進んで居ります。

一方、事務局をはじめとする本部部門は、成り手
が少なく、運営が厳しい状態にあります。前向きに
考え推進すると同時に、皆様の惜しみないご協力を
切にお願い致します。

年の始めにあたり、皆様のご健康とご多幸をお祈
り致します。また、今年がよい年でありますように。



栄区文化協会のますますのご発展を祈念して

栄区長 小山内いづ美

あけましておめでとうございます。
日頃から栄区の文化振興に御尽
力いただき感謝申し上げます。
昨年は、区制30周年事業で培つ
た連携の力を生かし発展させた年
で、皆さまにおかれましても、隣
接区や鎌倉市などと地域や世代を超
え活動し発展させてくださいました。
本年も栄区の資源であるこの「地域の力」を生かし、
東京オリンピック・パラリンピックに向け皆さまと
ともに栄の魅力を発信していきたいと存じます。

新年にあたり、貴協会の今後ますますの御発展を
お祈りいたします。



～目次～

- ・栄区長、文協会長新年のご挨拶 … 1
- ・創作・教養事業部、音楽・芸能事業部
の活動
- ・〈トピック〉古民家で体験～日本の伝統文化
～in 本郷ふじやま公園 … 2
- ・特集1 栄区民芸術祭 2017 … 3～6
- ・特集2 <予告>第22回春の文化祭の
イベント紹介 … 7
- ・最も若い文協会員グループ紹介
- ・新規加入団体紹介 … 8

21才・心揺れて (100号)

栄区美術家協会
油彩 鈴木 勝昭

創作・教養事業部、音楽・芸能事業部の活動

<創作・教養事業部長 藤田 剛>

創作教養事業部は11単協61団体、約730名の会員で構成されています。

作品発表の場として、秋の芸術祭、春の文化祭、そのほか各単協、団体単位でも活発に活動しています。活動拠点としては地区センターをはじめ多くの公共施設がありますが、近年は他団体の数も増えてきて会場確保が難しくなりつつあります。また、超高齢社会の影響でしょうか会員数の減少も課題となってきています。嬉しいニュースとして鎌倉彫のグループが新たに仲間になり、秋の芸術祭に出展しました。



中期目標にもある「現部門の活性化」の一環として、秋の芸術祭で栄区シニアクラブ連合会との共同展示、フォトSAKAEとさかえ陶芸協会の共同展示などの新しい試みに取り組んでいます。また、新しく区役所の玄関ホールに展示場所を設けて頂き、各単協が2週間のローテーションで作品を展示しています。来館者の方々に和やかな雰囲気を届けられるかと思います。活性化に向けての小さな一歩ですが、私たちの活動が地域文化の発展に貢献できれば幸いです。

<音楽・芸能事業部長 橋本 洋子>

音楽芸能事業部は音楽協会820名、芸能部331名、邦楽協会93名が栄区の音楽文化発展の要として活動している。

音楽協会は合唱23団体、器楽16団体、個人演奏、管弦楽の4部門で構成されている。区民芸術祭「秋の音楽祭」は部門毎の演奏会であり、協会の最も重視している行事。この音楽祭では区内の学校招待演奏で世代交流を図っている。春の文化祭は部門交流として一つの舞台を作り上げる企画をしている。今春はオペラ特集を企画。また、作曲家・木下牧子、加藤昌則とのコラボ演奏は高く評価され、このことは栄区が音楽文化の街であることを物語っている。



当協会主催の「栄第九演奏会」は2005年から2017年2月迄10回開催。参加者、観客から感動の声をいただき再企画の要望も多い。

会員個々も施設へのボランティア演奏等地域に根差した音楽活動を続けている。

芸能部は民謡、舞踊、吟舞、吟詠それぞれが流派による活動をしているが、区民芸術祭、春の文化祭は交流を深める最大の行事として力を入れている。また、民謡のチャリティ演奏会はじめ、踊りの講習会、国際交流の着付け教室等裾野を広げ、地域活動と若手育成にも力を入れている。

邦楽協会は伝統芸能として格調高い演奏活動を続けているが、その中において親しみのある演奏曲目で観客増を図っている。また、日本文化の授業として学校からの要請で講習や演奏披露をおこない、子供達へ伝統音楽を知る機会を提供している。

<トピックス> 古民家で体験～日本の伝統文化～in本郷ふじやま公園 (11/28)

"着付け" & "こけ玉"体験

主催する栄区から委託を受けて、栄区舞踊連盟と栄区園芸協会が講師をすることになった。参加者は女性5名、出身国はインドネシア、フィリピン、中国2名、ギリシャと多彩。



スケジュール説明が終わり、用意された多くの着物からそれぞれ好みのものを選び着付け体験が始まる。

東光菊さんをはじめとする栄区舞踊連盟の皆さんとの手際よいご指導のもと和服姿に変身、和服での所作も教わり庭に出て撮影会が始まった。体験者は終始笑みが絶えなかった。



次は、こけ玉作り、廣田耕二さん、松澤淑雅さんの指導で順調にかわいらしいこけ玉が出来上がった。



作ったこけ玉と別の鉢物もお土産として渡された。

同室に飾られた数鉢の盆栽鑑賞の説明が石井昭彦さんによって始まった。的確な分かりやすい解説に興味をそそられたよう

でいくつもの質問が出された。

最後に、体験者がそれぞれの出身国の概要、街の様子の写真、自慢できる物、伝統の物などについて語った。体験者は「体験することで、人と関わることができ嬉しい」「楽しかった、友達にも伝えたい」と口々に語った。講師の皆さんには指導後「反応は日本の皆さんと同じです」と感想を述べた。



特集1 栄区民芸術祭2017

《創作・教養》

美術連盟展 (10/18~10/22)

リリス

芸術の秋真っただ中、市内・区内で様々なイベントが開催された期間。初日晴天に恵まれ開場と同時に多数の方の来場、J:COMの取材がありました。

J:COMの取材がありました。後、最終日迄悪天候にもかかわらず栄区長・区関係者、文協関係者、美術愛好家の方804名もの多くの方に足を運んで戴きました。展示した作品は公募含む158点、会場内は美術談話・孫の話・老後の話等々何時もの交流の場となっていました。最終日リリスホールでの演奏会終了後立ち寄って戴いた方もいらっしゃいました。

栄区美術連盟 小栗常男



手工芸展 (10/24~10/27)

リリス



今年の手工芸展は天候に恵まれず、雨の日があったり、開催期間に土曜日、日曜日が無かった為に昨年より来場者が減り盛り上がりに欠けた手工芸

展となり、少し残念に思いました。今回は、鎌倉彫の団体が加わり、レイアウトを変えたりして昨年とは違った雰囲気の作品展となりました。来場者の方々も一点一点熱心に見て頂き担当者に作品に対する質問などを聞いて関心度は高かったです。

来年は開催時に土、日曜日が入りますので、多くの来場者を期待したいと思います。

手工芸・SAKAE 佐野由美子

第32回栄区美術家協会展 (10/28~11/2)

リリス

第32回展は一日増やし6日間とし、会員41名の油彩画・水彩画・漆芸・陶芸等多岐にわたる作品を展示し、好評裏に終了しました。作品約100点による恒例



のチャリティバザーは、前半の悪天候にも拘わらず、晴天の多い前年売り上げを超える額を栄区社協宛の寄付とさせていただきました。一部の出品者は、日展特選受賞者等をはじめ中央公募団体の役員、審査員、受賞者等の団体所属の作家で、受賞作品等も展示了しました。

来場者から「栄区では、ここ以外では見られない。」と大変ご好評でした。

栄区美術家協会 荒 陞

フォトSAKAE写真展 (11/3~11/7)

リリス



栄区最大の写真展、秋の芸術祭はお天気に恵まれ大盛況のうちに4日半が終了しました。会場は毎日活気に満ちていて、722人のご来場者となりました。

初めての試みである陶芸部とのコラボが、評判も高く集客効果力を高めた一因だと思われます。

また、搬入日が祝日であったことで、山手学院の生徒さんたちは自分たちの手で搬入と飾りつけができたことが、今回の写真展に於いての最大の収穫だったのではないかしらと思われます。

フォトSAKAE 野仲加津子

陶芸展 (11/3~11/7)

リリス



さかえ陶芸協会は今回、初めてフォトSAKAEの皆様とコラボをしました。心配しておりましたが過去一番の来場者数を数え会員一同胸を撫で下ろしました。

会員の技術も向上し、ギャラリーでの展示で見えたしました。残念な事は今回、チャリティー販売を行わず来場者の方たちに申し訳ないことをしました。

そして、フォトSAKAEの皆さんにコラボを受け入れていただき春の文化祭に初出展の依頼を受けて、チャリティー販売もさせていただきます。より一層会員一同出展に向けて頑張ります。

さかえ陶芸協会 川井綾子

書道展 (11/8~11/12)

リリス

本書道展には書部門で一般公募8作品を含む59作品、篆刻部門で37作品が出展されました。会場にはこれら作品に加え、本協会が実施する体験教室の案内、会員募集の案内、過去の書道展の図録、昨年度の書道展の新聞記事などを掲示しました。

参観者数は例年並みの約600人でした。近年、毎回のように会場に足を運び、時間をかけて熱心に作品をご観覧くださる人たちが増えており、出品者たちは勇気づけられました。

一方、例年人気を集める「書・篆刻の年賀状創作教室」は、14人が受講しました。

栄区書道協会 柳田煌海



保育園の園児と保育士達の「みんなが主役のまちづくり」出品によるところが大きい。このことが、来年以降『栄区の花“菊”』の定着に多少でも貢献してくれることを期待しています。

栄区園芸協会栄菊花会 神田勝衛



生け花展 (11/4~11/6)

公会堂

芸術祭の趣旨、目的として区民の皆様に花を楽しんでいただきたい、華道の普及に寄与したい、の思いから久しぶりに体験教室が実現しました。

体験者は40代の男性、小中学生の姉妹、生け花展を観に来て下った時に勧められた80代男性、70代女性は「真」に成る枝を真剣に見つめ、生け終わると作品にっこり、用意した竹の器にはお正月用の花を飾ってくださいました。

参加者から、「やはり生け花は良いですね」「心がなごみます」「ええ～本当にパパが生けたの」と楽しい会話が聞こえ、ホワイエを飾ってくれました。

栄区華道協会 高橋理智



盆栽・さつき・山野草・こけ玉展 (11/1~11/3)

公会堂



今年も盆栽・山野草・こけ玉の季節感満載の力作が沢山出品され、来訪者も多く、秋の風情を楽しんでいただきました。2日目に車いすの方

が何人かみえましたが、一人の方が盆栽も山野草もじっくりと熱心に鑑賞され、特にノコンギクの豆盆栽を食い入るように観察され、感激されている様子が強く印象に残りました。当日、公会堂でリエゾン笠間の文化祭が催され、講堂で行われた歌の発表会を展示会の合間に聴きに行ったりした所、その方がきれいな声で楽し気に歌っておられ、その姿にこちらの方も感激させられました。

栄区園芸協会 松澤淑雅

第32回栄区菊花大会 (11/3~11/12)

栄スポーツセンター前

本年は会場の設営方法は大きく、また、場所を若干変えたことにより、公会堂での催しがあった日の入場者数は昨年を上回った。

また、当初予定より小菊・輪菊の鉢数も上回り、本年から会場を多少狭く考えていたが、想定場所よりはみ出てしまった。これは笠間小学校児童、桂台

礼法 いまに伝わる和の心 (11/4・5)

公会堂

縁談がととのいますと、吉日を選んで「幾久しく・・・」と述べ結納品を取り交わし祝いましたが、最近は簡略化もすすみあまり聞かなくなりました。今回は最も正式な九品目を展示しました。



会場にいらした方々は「私の時の結納品は今でも仕舞ってあります」「春に娘も結納をすませました」等々思い出深く拝見下さいました。折形教室では、中央に折り出される子熨斗（このし）に苦戦する方もおりましたが、可愛く仕上がった「祝い菱包み」を手に笑顔がこぼれ、私達も楽しい一時を過ごすことができました。

栄区礼法の会 前田菱紀

お茶会（11/4～11/5）

公会堂

栄区民芸術祭の2日間、お天気もよく、途切れなく入場者が有りました。立礼席、和室席共に一服の



薄茶とお菓子で、お客様を一期一会の精神でおもてなしをし、満足されたのではと思います。

芸術祭の2日間だけでなく、会員の先生方は色々な会場で茶席を設けておられます。気軽に入られてお茶を楽しみ、茶道をとおし、日本文化の奥深さを皆様に知りたいとたくさん皆精進しております。

是非茶席に入られ楽しんでいただきたい。

栄区茶道会 近藤宗幸

囲碁まつり（11/3）公会堂・本郷地区センター

対局者、スタッフを含めて170名の参加者があり、大いに盛り上がった大会となりました。会場は、栄公会堂、本郷地区センターと二か所に分かれていますが、年ごとに對局者が多くなり会場が手狭になってきています。

新しい試みとして、プロ棋士による大盤解説をプロジェクターを使用して行いました。この方法は事前に棋譜を記憶しておるので、対局者が自分の棋譜の解説を聞くことができる、質問、意見等に時間を割けるなどの利点がありました。

栄区囲碁協会 藤田 剛



『音楽・芸能』

合唱の祭典①②（10/21・22）公会堂ホール

両日とも台風の影響で荒れ模様の天気となり、そのうえ2日目は選挙投票日とも重なる悪条件でしたが、予想外に大勢の方に来場して頂き、盛況でした。

今年は例年の高等学校のほかに桜井小学校が出演し、音楽協会に所属する全ての合唱団が勢揃いして、



多くの児童から中高年まで世代を超えた賑やかな祭典となりました。華やかな衣装、様々なジャンルの曲、練習を重ねた美しいハーモニー、出演者・来場者とも大いに演奏を楽しみ、最後は誰もが知っている歌を会場全員で大合唱しました。



合唱部門 山崎智子

器楽の祭典

①（11/4）リリスホール

②（11/11）公会堂ホール

今年は両日共土曜日開催ということでしたが、大勢の方に足を運んで頂き、盛況に終わることが出来ました。特に栄公会堂では、今年初めての出演の横浜栄高校の演奏に会場全体が盛り上りました。



両日を通して、普段の生活の中ではなかなか聞くことが出来ない様々な楽器での演奏を楽しめました。少人数編成の繊細な演奏から大人数編成による迫力ある演奏まで変化に富んだ演奏会になりました。



器楽部門 篠田久美

素敵なすてきなクラシックコンサート（11/3）

リリスホール

映画音楽、ミュージカル音楽を中心にお子様から年配者の方まで、楽しめる曲をチョイスし演奏いたしました。今回は2台のピアノを使い、ダイナミックなピアノ演奏もお楽しみいただきました。お客様

より「楽しかった」との声を頂戴しています。「0才から100才まで楽しめる」というコンサートの趣旨から、乳幼児の入場も歓迎している反面、席のトラブル、お子様の声に不快と思われるお客様もおられることから、いろいろな対策を進めました。



栄ソリスティ 飯塚弘志

シャンソンの夕べ (11/3) リリスホール

高齢化により退会者の数に入会者が追い付かず昨年は14名でコンサートをしましたが、お客様の中には、折角来たのにアッという間に終わってしまったという声が多数聞かれ心を痛めしていました。今回はさらに少なく12名の会員なので、思い切り2曲ずつ歌う事を決め、さらに曲紹介のナレーションにも力を入れました。各々の大変さは、却って集中力に変わり緊張感をもったコンサートになったように思います。会場の皆様からもプラボ一等の歓声を頂き、シャンソンの中のドラマを感じ取っていただけたら幸せです。



さかえシャンソン同好会 森 和子

栄フィル名曲コンサート (11/12)

公会堂ホール

フィンランド独立から100年の今年は、シベリウス作曲交響詩「フィンランディア」と交響曲第2番、そしてハイドン作曲トランペット協奏曲を取り上げました。



幸いこの日は日本晴れとなりましたが、会場では稲垣雅之氏のタクトによって、聴衆も演奏者も北欧の大自然の中へいざなわれました。古典の演奏経験に乏しい栄フィルですが、トランペット独奏三澤徹氏のすばらしい演奏に接し、ハイドンの曲の魅力も実感した演奏会となりました。

栄フィルハーモニー交響楽団 宮崎 修

芸能秋の祭典 (10/28・29) 公会堂ホール

10月28、29日は生憎の台風情報、1日目は雨模様でしたが、次の日はどうかと心配しましたが、何とか雨風とも夜になってということで、両日とも悪天候にもかかわらず、お客様がいつもどおり来館して下さり、大変嬉しく思いました。

初めていらした方がわざわざ「とても良かった」と言いに来て下さり、感激いたしました。

ともあれ両日とも何事もなく、楽しく終了できましたことを、ご協力の皆様に厚く御礼申し上げます。



芸能部 原田直真紗

さかえ邦楽の集い (11/5) リリスホール

今年の芸術祭の期間中、台風に見舞われたりと、ハラハラするような天候でしたが、当日(11月5日)は、天候にも恵まれ、近年目標としている、お客様主体の演目選びも功を奏し、曲によっては、「いいぞ!」と言う感嘆の声もかかる程になり、これは演奏者にとっても感激ものでした。これから、この状態を続けられるよう「努力しよう」と会員一同心に留めた演奏会でした。



栄区邦楽協会 角田操子

特集2 <予告> 第22回さかえ春の文化祭イベント紹介

第20回栄区書道協会展 2/14~2/18

10:00~17:00 リリス ギャラリー・会議室

本協会展は20回目を迎えます。この節目にふさわしい力作が出展されますので、ご期待下さい。なお、この記念事業の一環として、全出展作品の図録を制作します。

栄区書道協会 柳田 純海

第8回栄区美術家協会・春季展 2/20~2/25

10:00~17:00 リリス ギャラリー

栄区では珍しい日展、公募団体会員も含む絵画、漆芸、陶芸、工芸品等の展示会です。秋とやや異なり、身近なやや小振りの作品です。ご来場をお待ちしております。

栄区美術家協会 荒 陞

フォトSAKAE写真展&陶芸展 2/28~3/4

10:00~17:00 リリス ギャラリー

栄区を中心とした写真好きの仲間が集まっている区内6グループ(84名)の写真展です。自由活動の中、個性豊かな作品を作り、味わいのある展示会が見どころとなっています。

フォトSAKAE 野仲 加津子

春の文化祭に初めて参加します。フォトSAKAEとコラボ展示です。チャリティー販売もします。

さかえ陶芸協会 川井 綾子

第18回栄区美術連盟展 3/7~3/11

10:00~17:00 リリス ギャラリー・会議室

今回の美術連盟展の開催期間は最終週です。万物が芽吹き始める陽春、季節を飾るに相応しい、明るく力溢れる作品を展示致します。ご期待ください。

栄区美術連盟 小栗 常男

園芸展 3/8~3/13

9:00~17:00 栄公会堂・ホワイエ

今回は初の試みとして、盆栽(3月8~10日)と山野草・こけ玉(11~13日)に分けて展示会を実施します。今までよりもゆったりとしたスペースで作品を展示しますのでお楽しみください。

栄区園芸協会 松澤 淑雅

栄区民囲碁大会 3/11 (日)

9:00~17:00 栄公会堂1号・2号会議室

クラス別個人対局戦のほか、囲碁愛好者の皆様に楽しんでいただけるような企画ですので、多くの方の参加をお待ちしています。成績優秀者は栄区の代表として市大会に参加していただきます。

栄区囲碁協会 藤田 剛

体験お茶会 3/10 (土)

10:00~15:00 栄公会堂・ホワイエ

体験茶会の席と立札席を設え、気楽にお茶を楽しんでもらえるよう、準備をし、お待ち申しております。皆様といつときの時間を共有出来ればと、思っております。

栄区茶道会 近藤 宗幸

芸能春の祭典 3/3 (土)、3/4 (日)

開場 10:00 開演 13:30 栄公会堂・講堂

日本舞踊、民謡、詩吟、の会員が、3月3日、4日の2日間にわたって皆様に日頃の練習の成果を楽しんで頂く催しです。津軽三味線もあります。大いに頑張りますので是非見にいらして下さい。

芸能部 原田 直真紗

春の音楽祭 3/4 (日)

開場 13:30 開演 14:00 リリスホール

“オペラを楽しもう”1部合唱、2部アリア集、3部は歌劇「椿姫」演奏会形式ですが、ソリスト、栄オペラ合唱団、栄ゾリストの演奏で魅力あるオペラをお届けします。入場料 1,500円です。

栄区音楽協会 由田 順子

さかえ邦楽コンサート 3/11 (日)

開場 12:30 開演 13:00 リリスホール

第20回を迎える「さかえ邦楽コンサート」節目の演奏会にふさわしいものにする為、お客様主体の演目の選曲を続行し、日々、精進を重ねて参りました。きっと、ご期待に沿うものと会員一同、心からお待ちしております。

栄区邦楽協会 角田 操子

最も若い文協会員グループ～山手学院写真部～

現在の部員数は21名（中学生5名、高校生16名）で、全員がフォトSAKAEの会員、すなわち最も若い文化協会会員である。大会での入賞も数多く、全国高校総合文化祭で全国大会に昨年・今年と2年連続して出場した実力部でもある。部の雰囲気は学年間の垣根がなく、アットホームな感じだそうだ。

写真の面白いところを尋ねると、「目で見た景色と違う景色が見られる、小さい子供の瞬間の表情、夜景や動く被写体などを撮る難しさ、あるがままを切り取る楽しさ」など様々な答えが返ってきた。顧問の遠藤先生は「基本は押さえ、自由に撮って、どう仕上げるか」と生徒に投げかける。

今回のように外部の展覧会に出品することについて、「いつもは高校生の大会、今回のようにいろいろな年代で撮るもののが違うことが勉強になる」「緊張感と一体感がある」との感想。先生も「自分の作品が外部に見られる実感と緊張感を持ってもらいたい」と生徒へ期待を寄せる。会の年配者は「新鮮な切り口で撮られていてとても刺激になる」と嬉しそうに語った。

今後もこの若さ溢れるグループの活躍から目が離せない。



新規入会団体紹介～鎌倉彫～

さかえ鎌倉彫の会 会長 富安和徳



平成29年10月24日～27日の栄区文化祭での「手工芸SAKAE」の展示会場の一角に当会の展示コーナーを頂きました。今年春に栄区文化協会副会長の小華和さんからお話をあり、夏頃に会長の西崎さんからもお話をあり、出展を目指して人集めを行いました。最終的になんとか9人集まり出展することができました。初めての出展なので、良い作品を出したいと思い、今回は鎌倉彫教授会の皆伝免状以上の人でまとめました。この方たちは、教室をもって教えている方が多いです。特に、高橋怜子さんには顧問になっていました。近年は個人情報保護のため鎌倉彫関係でも会員名簿が発行されておらず、人探しに少し苦労しました。鎌倉彫は高価という評価もありますが、彫刻刀で木を彫る楽しさ、出来上がりの美しさが魅力で長く続ける方が多いです。今後、栄区文化協会の一員として宜しくお願いします。

あけましておめでとうございます 栄区文化協会賛助会員（順不同、敬称略）

小菅ヶ谷連合町内会 自治会会长 田中 健次	柴崎内科クリニック 柴崎 洋一	(有)みのくち 長瀬 安敏	なかたクリニック 中田 智大	芝浦エンジニアリング(株)
個人会員 風間 聰彦	上郷フィールドアスレチック 高橋 昭義	(有)久保田塗装工業所 久保田一彦	小菅ヶ谷町内会会长	箒・三味線のぼる 根本 昌之
栄区飲食業同業組合 理事長 佐相 幸延	角田税務会計事務所 角田 晃孝	タクノ印刷 中森 孝久	(株)タツノ 龍野 廣道	特養老人ホーム上郷苑 施設長 篠原 正治
(有)豊田印刷所 金子喜久男	個人会員 長瀬 清子	(有)ナカムラ生花店 吉田 敬	野村医院 野村 武	(株)宮古寿司本店 楠 明
横浜銀行 本郷台支店	横浜さかえ内科 中田 靖	よこはま緑の推進団体 栄連絡会会长 榎本イク子	(有)よろい寿司本店 近江 猛夫	(有)ライトスタッフ・スタジオ 森 雅宏
和菓子舗 龍月 鎌田 忠				

（表紙の題字「さわやか」は安藤紫水氏の揮毫による）

編 集 後 記

表紙は鈴木氏の何枚かの作品の写真から選ばせていただきました。タイトルは「21才・心揺れて」です。後に気づいたのですが文協も21才、縁を感じます。栄区長と文協会長挨拶をはじめ、創作・教養、音楽・芸能事業部長の言葉、栄区民芸術祭2017の活動報告、第22回春の文化祭紹介、古民家で体験の紹介、最も若い文協グループ及び新規加入団体紹介を記載しました。

さわやか第53号 新年号
平成30年1月15日発行
栄区文化協会会长 西崎進治
編集 奥野知行 清水鐸司
印刷 (有)豊田印刷所